

卒業生の皆さんへ

卒業生の皆さんへ

同窓会長 佐藤正樹 ◆4期◆



三年間の高校生活を終え、卒業される皆さんに同窓生を代表し心よりお祝いの言葉を贈ります。最終学年の一年間は、誰も予想しなかった新型コロナナにより、皆さんの生活は一変し、不安で不便な毎日をご過ごしたことでしよう。しかしながら、歴史に残る困難を直に経験して乗り切った皆さんには、これからの人生を乗り切る忍耐と勇気が備わったことと思います。皆さんの今後の活躍を祈念いたします。

さて、新型コロナウイルスにより生活様式、社会の在り方は大きく変化しました。それだけではなく、現在は5Gなどの通信、デジタル化の進化や脱炭素社会への急激な加速により、社会が求める価値や、それに伴う産業の変化により、私たちが巻き巻く環境は急激な変化の真最中です。特に、自動車の電

動化は、日本の基幹産業に関わる大きな転換を余儀なくされる事態です。正月のテレビコマーシャルで「自動車に関わる五五〇万人」というフレーズが流れていましたが、自動車の電動化によって、エンジン部品を作っている工場、整備工場、ガソリンスタンドなど、仕事の内容が大きく変わって行きます。無くなる仕事もあれば、これから新たに生まれる産業もあるでしょう。仕事のやり方も、自らが働くのではなく、ロボットやAIに仕事や判断をさせたり、遠く離れていても、バーチャルの空間の中で機械を動かしたり、会社を運営したり出来るようになるでしょう。私には想像するの大変ですが、現実これからの社会は大きく姿を変え、求められる価値観も急激に変わっていくこととなります。

このような、「一〇〇年に一度の変革」と呼ばれる状況の中、私たちは

社会の変化を敏感に感じ取り、自らを適応させていく能力が求められると思います。新しい時代を切り開くのは新しい人たちです。卒業生の皆さんには是非自らの感性とスキルを磨き、新しい時代をリードして行って欲しいと心より願っています。

仁高卒業生・藤本タツキさんが「このマンガがすごい!2021」で第1位を受賞しました!

仁高卒業生の卒業生で(第三十二期生・情報メディア科卒業、にかほ市出身)藤本タツキさんが『週刊少年ジャンプ』に連載した作品「チェインソーマン」が、宝島社主催「このマンガがすごい!2021」オトコ編で、第1位を受賞しました。「チェインソーマン」は既に単行本が十巻まで発売されており、今年一月現在で、累計六四〇万部突破した超人気作品です。なお、本作品は、昨年十二月十四日(月)発売の『週刊少年ジャンプ』で最終回を迎えました。その誌面で「チェインソーマン」のアニメ化が発表され、アニメ制作

会社MAPPAが制作を担当します。同時にインターネット配信アプリ『少年ジャンプ+』(フラスコ)にて続編(主人公デンジの高校編)が連載されることも決定しました。数多くの人気マンガ作品の中から第1位に選ばれた、卒業生・藤本タツキさんのご活躍に、在校生・同窓生と教職員一同、大いに励まされた次第です。これからの「チェインソーマン」アニメ化や続編の連載にも、同窓生一同、心からご期待申し上げます。

第42期代表幹事

- 3A 諒花 太衣 平紗
- 3B 木原 藤村 島藤
- 3C 佐市 佐木 中佐

仁高卒業生の卒業生で(第三十二期生・情報メディア科卒業、にかほ市出身)藤本タツキさんが『週刊少年ジャンプ』に連載した作品「チェインソーマン」が、宝島社主催「このマンガがすごい!2021」オトコ編で、第1位を受賞しました。「チェインソーマン」は既に単行本が十巻まで発売されており、今年一月現在で、累計六四〇万部突破した超人気作品です。なお、本作品は、昨年十二月十四日(月)発売の『週刊少年ジャンプ』で最終回を迎えました。その誌面で「チェインソーマン」のアニメ化が発表され、アニメ制作

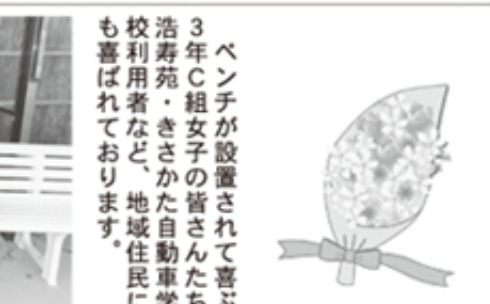
仁高同窓会は、学校では対応が難しい事柄を、にかほ市や地域住民と共に関わり、生徒会よりお願い申し上げます。

仁高同窓会は、学校では対応が難しい事柄を、にかほ市や地域住民と共に関わり、生徒会よりお願い申し上げます。

仁高同窓会事務局より、ご報告いたします。仁高卒業生初代校長である畑澤潤一先生が、令和2年4月3日、秋田市内の病院にてご逝去されました。享年93歳。仁高卒業生の創立準備から深く関わられ、初



仁高同窓会事務局より、ご報告いたします。仁高卒業生初代校長である畑澤潤一先生が、令和2年4月3日、秋田市内の病院にてご逝去されました。享年93歳。仁高卒業生の創立準備から深く関わられ、初



仁高校門前ロータリーにベンチ4脚を設置

仁高校門前ロータリーにベンチ4脚を設置されて喜ぶ3年C組女子の皆さんたち。浩寿苑・きさかた自動車学校利用者など、地域住民にも喜ばれております。

初代校長 畑澤潤一先生ご逝去



初代校長として、昭和52年4月から昭和56年3月まで4年間に渡り、強力なリーダーシップで生徒・教職員を指導し、仁高高校の礎を築きました。

その指導力は、進路指導や部活動の強化など、あらゆる分野におよび、後の全日本吹奏楽コンクール全国大会Aクラス金賞受賞や、全国高等学校総合体育大会登山競技の優勝など、大きな成果を導き出しました。

仁高同窓会事務局より、ご報告いたします。仁高卒業生初代校長である畑澤潤一先生が、令和2年4月3日、秋田市内の病院にてご逝去されました。享年93歳。仁高卒業生の創立準備から深く関わられ、初

仁高同窓会事務局より、ご報告いたします。仁高卒業生初代校長である畑澤潤一先生が、令和2年4月3日、秋田市内の病院にてご逝去されました。享年93歳。仁高卒業生の創立準備から深く関わられ、初

「半熟タマゴ」の時代



校長 小園 敦

令和三(二〇二一)年三月一日、第四二期卒業生七五名を加え、秋田県立仁賀保高等学校同窓会員は、八、一〇五名となります。同窓生の中には、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、日常生活が制限され、不安な毎日を送っている方も多いのではないのでしょうか。

コロナ禍の中、昨年の卒業式は、第四一期卒業生と職員だけの前代未聞の形態でとりおこなわれ、無念さを考えた時、何か妙案がないか試案し、YouTube配信とDVD制作を実行しました。あれから早一年が経過し、今年の卒業式も、様々な制限を乗り越えて、達成感のある思い出深式に創り上げたいと思います。

さて、昨年度の同窓会報で自称「仁期生」を公言した私ですが、おめでたい門出に当たり、仁高生と生徒会に対する期待感について、同窓生にも知って欲しいと思います。

高校時代を「ゆでタマゴ」の中で、「半熟タマゴ」と考えます。「生タマゴ」は、義務教育(中

学校)まで、大人は「完熟タマゴ」＝黄身が固まった「ゆでタマゴ」です。誕生から幼少期を経て小、中学校時代をふり返ってみましょう。誕生期は、親の手を一〇〇%借りて、命を守ります。熱湯に手を入れようとする、その手をたたかれ、痛い思いをして、危険を回避する学習を繰り返します。小学校時代には、交通安全について先生からきつく注意され、中学校でも学校生活や社会のルールを厳しく指導された思い出があると思います。年齢が上がるほど、注意や配慮の度合いは低くなりますが、周囲の大人は、「生タマゴ」の殻が割れないように、十分に注意して取り扱ってくださいます。高校生になるまでは、自分の意志で「する」よりも、はじめに教員から指導「される」とが多かったのではないのでしょうか。高校生になってくると言うことは、「半分大人になる」ことを意味します。先生からあれやこれやと指示されて、判断し行動するのではなく、自己責任で行動できるのが高校生です。

にかほのほかに(旧上郷小学校)インターネットラジオ番組に、仁高同窓生が多数出演中です!

昨年から、にかほ市の旧上郷小学校が「にかほのほかに」へ組織改編して、インターネットラジオ局が開局いたしました。様々な番組が放送されていますが、その中で地域住民がリレートークする「あなたのおぼんです」という番組があります。この番組のパーソナリティに仁高同窓生が出演して話題になっております。ポッドキャスト形式でダウンロード可能なので、ぜひ、お時間あるときにお聴きください。

あなたのおぼんです第7回パーソナリティ
2020年8月7日放送:佐藤正昂さん(元ケース&マサ)仁高OB
<https://anchor.fm/oban-studio129/episodes/vol-07-ehb13c>

あなたのおぼんです第25回パーソナリティ
2020年12月11日放送:佐々木恵介さん(元ケース&マサ)仁高OB
<https://anchor.fm/oban-studio129/episodes/vol-25-enb7ob>

また、市川雄次にかほ市長がパーソナリティを担当する番組、「いちかわのじく」にも、仁賀保高校生や小園敦校長が出演しております。ぜひ、こちらもお聴きください。

いちかわのじく第6回ゲスト・小園敦仁賀保高校長
2020年8月19日放送:対談テーマ「高校と地方創生」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-06-eibe3c>

いちかわのじく第10回ゲスト・超神ネイガー(仁高OB)
2020年10月14日放送:対談テーマ「青銀共創」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-10-el1abp>

いちかわのじく第17回ゲスト・仁賀保高校生徒会(会長&男女副会長)
2021年1月20日放送:対談テーマ「地域と高校生」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-17-ep70jf>

これからも、仁賀保高校は「にかほのほかに」のインターネットラジオ局と協働して参ります。

同窓会事務局に8期卒業生 石澤宏基教諭が着任!

「半熟タマゴ」のように、柔軟な発想と、奇抜で独創的な方法や手段を駆使して、生徒自らの思考を磨いて判断「する」、行動「する」生徒会であったほしいと願っています。教職員や地域の大人は、半熟度を踏まえて指導や支援を行い、生徒のみならず、未来へと導いてくれます。

仁高生は、まさに今、「半熟タマゴ」時代のまったただ中を生きているのです。

仁賀保高校の職員室には、6期卒業生の藤原成美教諭がご勤務されていますが、令和2年4月に8期卒業生の石澤宏基教諭が着任されました。どんな分掌・業務を担当されているか聞いてみました。

8期卒業生(1987年3月卒業)の石澤宏基です。矢島高校から異動して参りました。昨年4月の着任後、すぐ新型コロナウイルス感染症拡大により「緊急事態宣言」が発令されたため、同窓会長以下、役員の皆さまに

ご挨拶もできず、誠に失礼いたしました。校務分掌では、総務部主任・早藤素史先生の下で、同窓会事務局を担当しています。同窓生の皆さま、どうかよろしくご指導お願い申し上げます。同窓会以外では、地域との協働委員会を主担当として拝命し、3年部副主任、特別活動部員、山岳部顧問などの業務を担当しております。教科は、地理歴史科と公民科です。

特に「地域との協働委員会」は、にかほ市と仁賀保高校が連携協定を締

結して以降、仁高の教育活動の中で、重要な位置付けとなり、鳥海山・飛鳥ジオパークの学習や、横岡番楽・小滝番楽など地元の伝統芸能「番楽」学習、18歳成人年齢化・18歳選挙権の「主権者教育」を、にかほ市選挙管理委員会と連携したりと、地域住民・にかほ市役所・にかほ市教育委員会などの地元と仁賀保高校が「協働」する仕事を行っています。その業務には、もちろん同窓会事務局も加わっている次第です。仁賀保高校の卒業生は、

様々な分野で活躍されており、9期生「超神ネイガー」こと海老名保さんや、32期生の漫画家「チーンソーマン」藤本タツキさんなど、校歌1番の歌詞「世の光なる人たらん」方々がいます。

一方で、私が接する同窓生の中には、行政・医療・商業・製造業・教育分野などの現場第一線で、目立たなくても、黙々と地域社会を支える方々もおられます。

以上の同窓生の皆さまからは、あと6年後(2027年)となる仁賀保高校創立50周年への期待が寄せられています。現在、生徒数の減少が著しい我が母校ですが、仁賀保高校に様々なご支援とご協力をいただきたく、

同窓生の皆さま、よろしくお願い申し上げます。(文責:同窓会事務局・石澤宏基教諭)

ジオパーク認定ガイドとして山根館跡・院内油田を解説する石澤宏基教諭

令和2年度同窓会設立40周年事業について

母校職員室へエアコン3基を寄贈

令和2年度は仁賀保高校同窓会設立40周年の節目にあたりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、役員会や総会等を開催できない状況がありました。



新しいエアコンに感動する同窓生教員・石澤宏基先生(第8期生、1987年3月卒業)

そのような中、学校側とも相談をし、後輩たちの指導に毎日毎日頑張ってくださいっている先生方が、暑い夏にも健康管理に注意しながらお仕事に集中出来るよう、職員室へエアコン3台の寄贈を決定し、6月上旬に設置致しました。

としては役員内で話し合い、本校9期卒業生の今野社一氏が営まれている由利町黒沢の有限会社今野電気様に依頼し、施工して頂きました。仁賀保高校同窓会は、生徒・教職員の学習環境・職場環境の向上に貢献しております。

